



# ガバナー通信



Vol. 4 2019年2月1日

国際ゾンタ26地区（2018-2020）ガバナー 木下 彰子



Tel. : 093-522-1699 Fax : 093-522-1768 E-mail: d26governor@zonta-d26.jp

## ご挨拶

皆様佳き新年をお迎えになられたことと存じます。

平成31（2019）年は、日本も世界も大きな変化がもたらされる年になりそうです。

5月には新天皇・皇后が誕生なさいます。天皇のご退位なさるのは、江戸時代の光格天皇以来200年ぶりだそうです。明治期に制定された皇室典範は皇位の安定性を保つため、退位に関する規定を設けず終身在位制を原則としたので、陛下のご退位は憲政史上初の歴史的な出来事なのだそうです。新しい元号が発表される4月まで、それぞれの平成の30年を振り返ってみては如何でしょう。

世界的に見れば、米中関係、米ソ関係、イギリスのEU離脱、そして日韓関係など不安定要素が多いですね。世界のリーダー達は、自国を第一に考えることは当然大切なことですが、国際協調なしには世界平和は達成できるものではない、という認識をもっと強く持つてほしいと思います。

日本の若者たちのスポーツ界での躍進には目を見張るものがありますね。大坂なおみさん、アジア人として世界ランキング第1位は初めてという快挙！あの飾らない謙虚さには教えられることが多い気がします。一人のアスリートを作り上げるチームワークの素晴らしさも学ばせて頂きました。

サッカーアジアカップ、このガバナー通信が配信される頃には、森保ジャパンが優勝カップを掲げていることを夢見ています。

私共ゾンシャンにとりましては、国際ゾンタが100周年を迎えるという大変おめでたい年です。100年間に渡ってジェンダー平等の為に努力を重ねてこられた先輩諸姉に心から敬意を表します。同時に今私たちにできることを追求しつつ、世界中の女性と子供たちが暴力から解放され、より豊かな生活ができる日を夢見つつ活動を続けたいと思います。

本年が皆様お一人お一人にとりまして幸多き年でありますように。

26地区ガバナー 木下彰子



## 国際ゾンタ横浜コンベンション委員会報告



横浜コンベンション委員長	山本 蒔子 三宅 定子
横浜コンベンション副委員長	上田 トクエ 豊田 由起子
横浜コンベンション会計	佐藤 晴美

日本のゾンタの記念すべき最大のイベントであった第64回国際ゾンタ横浜大会が成功裡に終了して、早くも半年が過ぎました。

振り返ってみますと、大会の準備は、2015年地区大会後に始まりました。

基本態勢を2名の委員長にしたことは初めての事でしたが、山本は施設設備とサービス、三宅はスポンサーシップ、プログラム及びツアーと役割を分担して、それぞれの副委員長と共に進めることが出来ました。実際の役割毎に30の小委員会を作りました。その際に日本のゾンシャン全員が参加して頂くように、役割をクラブ単位とし、委員会によっては2~3クラブにお願いしました。山本はエリア1と2のエリアのクラブに、三宅は3と4のエリアのクラブに担当をお願いしました。また、各クラブにはクラブコンベンション委員を任命させていただきました。

いよいよ開催の年になり、小委員会の委員長も決定し、委員長には実際に仕事を担当して頂くゾンシャンを日にちと時間ごとに割り振り、開会に備えました。

大会の参加者は2,500名を超え、大会中のゾンタ財団への寄付は今までの最高額を記録しました。国際ゾンタの代表者との懇談に、美智子皇后さまの御臨席を頂けたことも幸いでした。

エンターテイメントは、開会式の国歌斉唱の男性グループの日本伝統のはかま姿、和太鼓演奏、ゾンシャン達の着物姿、呈茶、マーケットプレイスの日本のお土産やガラディナーにおける能等、日本ならではの文化を参加者に堪能して頂く事が出来ました。

ソニア会長は、ガラディナーのご挨拶でThe Best Convention!とおっしゃいました。これは我々にとって大きな喜びでした。

大会後に、大会開催報告を作成しました。これには小委員会の委員長の皆様からの報告も含めて9月末にソニアさんに送りました。会計に関しては、クラブに12月末に、決算報告としてスポンサーシップ報告を配信しました。皆様からの多大なご寄付が、大会の運営に如何に貢献出来たかをご理解頂けたと思います。寄付金の総額は15,186,000円であり、それに横浜市からの補助金4,000,000円が収入でした。大会委員会では、日本のゾンタの歴史をDVDで作成する案を提案し、国際からの了解も得て、324万円をあてることにしました。その他の余剰金は国際ゾンタ100周年への寄付として約227万円、および次期世界大会への繰越金として約86万円を、それぞれ送金しました。

さらに、大会開催に先立ち、大会準備金へも多くのクラブや会員個人からご協力を得ることが出来ました。当初の目標予算500万円を上回るご寄附でしたが、余剰金約135万円を地区理事会の監査を受けて地区会計に戻すことができ、地区理事会はその余剰金を同時通訳の費用に充てることで皆様の同時通訳費用分担金をお安くすることができました。開催準備基金もこのような形で還元することが出来ましたことをここに合わせでご報告申し上げます。

これ等を持ちまして、私達大会委員会はその役目を無事に終えましたことを皆様ご報告申し、皆様のご協力に心から深く感謝申し上げます。



## 2月・3月予定

### ・札幌 I R I S ゾンタクラブ30周年

開催日	平成31年3月23日（土曜日）
時間	午前11時30分（式典受付午前10時30分）
会場	札幌パークホテル3階パークホール
講演会	開会時間（午後2時）
登録料	12,000円

## 委員長活動報告

100周年記念事業委員長  
上田 トクエ(奈良)



(1) 前号でも報告いたしました、26地区独自の事業として3月8日「ローズデー」の推進と理解を得る為に、各市町村長・都道府県の長に「女性デー宣言」を行っていただくようお願いして頂きたいと思っております。日本では諸外国と比べて行政レベルの認識が低く、今後より大きなうねりにするには行政との連携が必要になってきます。その第一弾としてまず100周年を迎えるゾンタから要請したいと思っております。3月8日に首長が記者会見して頂ければ最高ですが、広報誌、市民（県民）便りなどの市長（知事）コラムに掲載等でもいいかと思っております。各クラブのご理解とご協力をお願い致します。

(2) 100周年記念助成金の応募はもうお済みでしょうか？  
それともご準備を進めて頂いている所ではないかと思っております。  
締切りは3月31日です。

応募用紙の作成に少々手間がかかりますが、国際ゾンタ財団への多額の寄付の貢献と同様、26地区から沢山の団体を推薦し、地域でのゾンタの知名度を高める機会に致しましょう！

広報委員長  
浅川 利恵子(山梨)

広報委員会としてはFacebookを更新しています。



奉仕委員長  
三輪 光代(姫路)

クラブの奉仕活動実態調査のため簡単な質問表を作成しました。各エリアの奉仕委員よりクラブ会長あてに配布してあります。クラブで検討して必ず返事お願いいたします。楽しみにしています。

YWPA奨学金委員長  
佐佐木 アユ美(金沢)

YWPA奨学金募集要項について

対象：26地区内に在住又は通学する16-19歳の女性（2019年4月1日）  
ボランティア活動や生徒会活動などに積極的に参加し、  
次世代のリーダーになる女性など

応募締切：2019年2月末

ご応募よろしくお願ひします。

Z & GZクラブ委員長  
岩田 真左子(札幌II)

国際ゾントは、エマ・L・コンロンサービスアワード賞に応募する優れたクラブを探しています。国際ゾントは、奉仕活動を通じて、最も理想的な活動を行った6つのクラブに対してエマ・L・コンロンサービスアワードで表彰を行います。

1位1000\$、2位500\$、3位250\$が付与されます。

締め切りは、4月30日国際本部必着です。

日本のZ&GZクラブの皆さんに是非応募されるように働きかけて下さい。

## シモン・オヴァートを偲んで。



元国際理事、元30地区ガバナー、そして長期にわたり国際ゾント国連委員会のメンバーであったシモン・オヴァートが2019年1月9日（水）亡くなりました。

1989年シモンはイタリー・ピネロロZCの会員となりました。たちまち活発に活動を始め、1992-1994年度のクラブ会長、その後エリア・ディレクター、30地区の副ガバナー、ガバナーなど様々な役職を歴任しました。30地区ガバナーとして、多くの新ゾントクラブ（12クラブ）のチャーターを行ないました。又、マケドニアに初めてのゾントクラブをチャーターして国際ゾントに新しい国を一つ加えました。

素晴らしいゾンシャンであったシモンのリーダーシップに敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

